

長岡京市こども計画及び第3期子ども・子育て支援事業計画 ニーズ調査の実施に係るアンケート設問及びこどもの意見聴取について

①就学前児童の保護者調査

対象	長岡京市に居住する就学前児童の保護者 1,600人（無作為抽出）
調査のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所をはじめとする子ども・子育て支援のサービス量を推計する。 ・ 妊娠期からの切れ目のない支援等の充実のためニーズを把握する。
調査方法	アンケート（郵送→返送またはWEB回答）

第2期計画ニーズ調査の設問に加えて以下の設問を検討中。^{資料2-4-1}（前回設問の一部は簡略化）

●経済の貧困状況に関する設問

内閣府調査の貧困に関する設問を元に、世帯年収と衣食住に係る費用について質問する。

●産後の支援に関する設問

切れ目のない子育て支援のため、産後の不安や負担等について把握する。

●ヤングケアラーに関する設問

「ヤングケアラー」の認知度を図り、周知・啓発に努められる内容となるような質問とする。

②小学生の保護者調査

対象	長岡京市に居住する小学生の保護者 800人（無作為抽出）
調査のねらい	・ 就学後の子ども・子育て支援のサービス量を推計する。 ・ 多様で複雑な支援の充実に向けて、ニーズを把握する。
調査方法	アンケート（郵送→返送またはWEB回答）

第2期計画ニーズ調査の設問に加えて以下の設問を検討中。^{資料2-4-2}（前回設問の一部は簡略化）

●経済の貧困状況に関する設問

内閣府調査の貧困に関する設問を元に、世帯年収と衣食住に係る費用について質問する。

●ヤングケアラーに関する設問

「ヤングケアラー」の認知度を図り、周知・啓発に努められる内容となるような質問とする。

③小学生高学年・中学生本人調査

対象	長岡京市に居住する小学生高学年及び中学生 最大で4,000人
調査のねらい	・多様で複雑な支援の充実に向けてニーズを把握する。 ・子どもの権利に関する認知度を図り、周知・啓発に努める。
調査方法	アンケート（学校タブレットによるWEB方式を想定）

以下のような設問を検討中。（抜粋）

●学校や放課後の過ごし方についての設問

学校生活や進路の希望について、また、放課後の時間の使い方等を把握する。
ヤングケアラーの状況や生じている課題について実態を把握する。

●悩み事や考え方についての設問

児童、生徒の悩みごと、不安な状況について把握する。年代別に特徴を抽出する。

●子どもの権利についての設問

こども基本法等における子どもの権利の認知度を権利ごとに把握する。

④ 高校生本人調査

対象	長岡京市内の高等学校に在学の高校生 最大で2,000人
調査のねらい	・若者のひきこもりをはじめとする多様で複雑な支援の充実に向けて、ニーズを把握する。
調査方法	アンケート（WEB方式を想定）

以下のような設問を検討中。（抜粋）

● 普段の生活や人間関係についての設問

不登校の有無や時期、ひきこもりの可能性等について把握する。
人間関係、特に親友・家族・相談相手について把握する。
ヤングケアラーの状況や生じている課題について実態を把握する。

● 子どもの権利についての設問

こども基本法等における子どもの権利の認知度を権利ごとに把握する。

● 将来のことについての設問

将来に対する希望、不安を把握する。

⑤ワークショップの開催、⑥ヒアリングの実施

対象	長岡京市に居住する有志の高校生～大学生相当を想定
調査のねらい	<ul style="list-style-type: none">・ こども本人の意見を収集・整理し、こどもの意見を次期計画へ反映。・ こどもたち自身に社会の現状や課題について考える機会を提供。
方法	<ul style="list-style-type: none">・ ワークショップの開催（対面）・ ヒアリングの実施（WEB方式等を検討中）

●ワークショップの開催

市内の高校に協力を依頼し、10～20人前後で実施を検討中。
テーマにグループワーク形式で討議する予定。

●ヒアリングの実施

大学生等が集まる場（「二十歳の祝典」等？）の際に1、2分で回答できるようなインタビューをWEBを用いつつ実施する、などの方法を検討中。

→ワークショップやヒアリングを通じて、得られたこどもの自由な意見のキーワードなどを次期計画の基本理念や基本目標等に盛り込むことを検討。

※いずれも検討中の内容です。国・府の方針や庁内での検討・調整にも応じて、変更することがあります。

※回答者の負担にも配慮しつつ、設問数を設定することになります。